

車座談議の概要（富士見町自治会沼津駅周辺総合整備事業対策委員会）

1 日 時 平成 25 年 5 月 21 日（火） 14：00 ～ 16：00

2 場 所 富士見町公会堂

3 出席者 富士見町自治会沼津駅周辺総合整備事業対策委員会 5人
沼津土木事務所都市計画課

4 いただいた主なご意見

- ・ 勉強会〈沼津駅周辺地区〉第5回にて県が提示した戦略案にある、富士見町を通過する（都）平町岡一色線の鉄道オーバース道路は、国道414号にも接続していないので、整備する意味がない。
- ・ のぼり道ガードは現状のままでいい。
- ・ JR御殿場線が高架化されると、富士見町を分断していくこととなるので、高架事業は実施しない方がいい。併せて、地域を分断する幅員27mもの広い道路もいらない。
- ・ （都）七通線等も整備しなくていい。道路拡幅するのであれば、御殿場線の北沿いにある細い道路を竹ノ岬交差点まで拡幅すればいい。
- ・ 富士見町の区画整理は、車両基地と富士見町を分けて考えて欲しい。車両基地は、移転できるならすばいいが、富士見町については手をつけず、そのままそっとしておいてほしい。
- ・ 区画整理により、世帯数が最盛期に比べ半数以下になってしまった。区画整理により世帯数が減り続け、自治会活動もままならない状態である。
- ・ ゴーストタウン化していく富士見町の活性化を考え、今できることを前向きに検討して欲しい。今ある空き地を分譲する等、早く活用して欲しい。
- ・ これからも、富士見町自治会との車座談議を続けて欲しい。



車座談議実施状況